

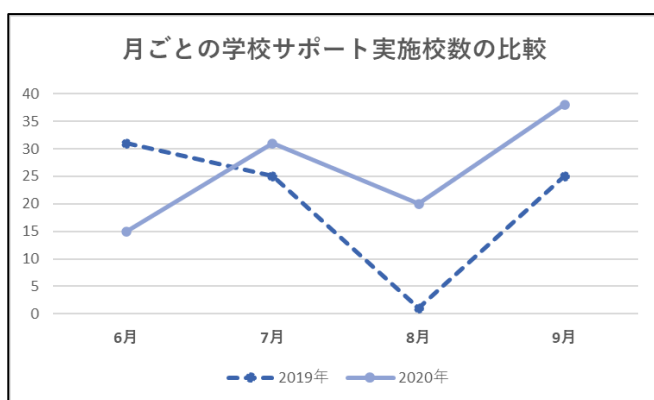
# SMILE通信

2020年10月 第2号

## 先生のゆとりと子供の成長を願って

学校が再開された6月以降の学校サポート数は104校。昨年の同時期に比べても大きく上昇しています。毎月継続してサポートに入っている学校も増えています。少しでも子どもたちの成長につながるよう、担任の先生との連絡方法も工夫しています。

### 子どもの様子を連絡ノートやファイルでやりとり



Smile ういんずでは、その日のクラスサポートが終わると打合せで決めた連絡方法で、子どもの様子を伝えます。付箋のメモに書いて職員室の机の上に置いて帰るなど、次の活動で忙しい担任の先生にも伝わるようにしています。

最近、内部研修時の情報交換で、ノートやファイルを使って積み重ねることで効果が上がることが報告されました。担任の先生ばかりでなく管理職の先生や二人組のもう一人のサポーターも見ること

ができて、共通の意識で子どもに接することができるからです。時間のない中、担任の先生と情報も共有できます。

学校からは「児童のつぶやきや様子を教えてもらい、児童理解が進んだ。」「児童の困り感や行動の心的・物理的な背景や個々または集団として気に掛かることを記入してもらった。担任にとっては貴重な指摘であり、方策を立てる大切な手がかりとなっており、本当にありがたい。」と喜ばれています。サポーターからも「担任の先生から具体的に指示を出してもらったので大変助かった。」と好評です。

### ピンチの時にサポートしてます

行事で人手が足りない、一人しかいない養護教諭の先生が体調不良、担任の先生が松葉杖に……。学校現場にはいろいろなピンチが訪れます。

9月は運動会、体育祭が花盛りでした。ある学校で養護教諭の先生が体調不良になり、体育祭当日救護のお手伝いをしてほしいという依頼があり、サポーターが伺いました。あまり動けない養護の先生と一緒に怪我人を手当てしました。（担当は不在ではありませんが担当不在サポートとして引き受けました）

10月11月は就学時健診が行われる時期。この時だけ記録の手伝いがほしい、内科検診を手伝ってほしいという依頼もあります。今年は感染症予防のため消毒にも気を遣わなければなりません。そんなとき、私たちは二人組で伺って2時間3000円の料金をサポートします。（一般的なキャリアでできますので事務作業サポートとして受けました。）

困ったときには教員サポート Smile ういんず事務局まで遠慮なくお問い合わせください。



